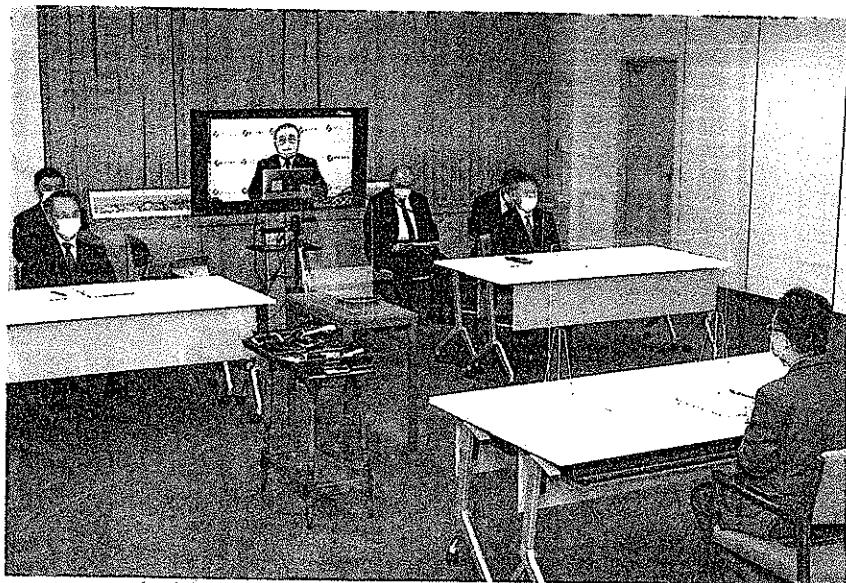


2/13 早稲



杉本知事（手前右）と面談するモニター画面の梶山
大臣と森本社長ら=12日、県庁で（山田陽撮影）

関西電力の森本孝社長は
十一日、県庁で杉本達治知
事と面談し、原発の使用済
み核燃料を搬出する中間貯
蔵施設の県外候補地について
「二〇一三年末を最終期
限として確定に取り組む」
と報告した。候補地は明示
されず事実上の回答先送り
となつたが、杉本知事は、
運転開始から四十年を超
えた原発二基の再稼働に向

け、議論を始める考え方を示
した。〔関連13面〕
面談で森本氏は、青森県
むつ市にある施設を電力各
社で共用する案を初めて県
側に提示し「国や電気事業
連合会と一体で対応する」
と説明。三基を再稼働した
場合も、「三年末に候補地
を示せなければ、その後の
運転を停止する」という条件
を新たに提示した。

むつ市の施設の共用案に
掛ける考え方を示した。た
だ、知事自身は県議会の判
断や県の専門家委員会によ
る審査を見て同意するかど
うか判断することとした。

面談には梶山弘志経済産
業相がオンラインで参加し
40年超原発の再稼働に協
力を求めた。（今井智文）

関電、中間貯蔵先送り「23年末まで」

40年超原発知事「議論開始」

つらじは、宮下宗一郎市長
が反発しており、二三年ま
でに同意などが得られるか
は不透明だ。

県側は関電が運転開始か
ら四十年超の延長運転を目
指す美浜原発3号機（美浜
町）と高浜原発1、2号機
について、関電が中間貯蔵
施設の県外候補地を示すこ
とを、同意に向けた議論開
始の条件にしていた。しか
し、関電は県と約束してい
た昨年中の提示ができず、
先送りとなつていた。

議会側に議論の開始を呼び
掛けた考へを示した。た
だ、知事自身は県議会の判
断や県の専門家委員会によ
る審査を見て同意するかど
うか判断することとした。